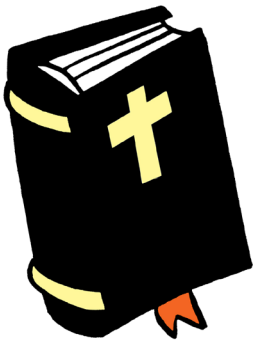


せいしょ きせき ものがたり
聖書の奇跡の物語：
5,000人に食べ物を与える

(ヨハネによる福音書 第6章 1-13節)



イエス様がガリラヤ湖を渡ると、大勢の人がついてきました。イエス様のいやしの奇跡を見たからです。イエス様は弟子たちと丘に登って、そこにすわりました。過ぎ越しの祭りが近づいていたところのお話です。イエス様は人々が集まって来るのを見ると、ピリポにたずねました。「どこからパンを買ってきて、この人々に食べさせようか？」これは、イエス様がピリポを試そうとして言われたのであって、ご自分ではしようとしていることを知っておられました。

ピリポは言いました。「こんなに大勢の人たちに食べさせるだけのお金は、わたしたちにはありません。」すると、弟子の一人、シモン・ペテロの兄弟アンデレがイエス様に言いました。「ここに、大麦のパン五つと、小魚二ひきとを持っている子供がいます。しかし、こんなに大勢の人では、それが何になりましょう？」

イエス様は「人々をすわらせなさい。」と言われました。そこには草が生えていたので、みんな、その上にすわりました。男の人たちだけでも、5,000人ほどいました。

そこで、イエス様はパンを手に取り、感謝をささげると、それを弟子たちに渡し、弟子たちはそれをすわっている人たちに配りました。小魚も、同じようにされました。みんな、食べただけ食べて、お腹がいっぱいになりました。人々が食べ終わると、イエス様は弟子たちに言われました。「少しもむだにならないように、パンくずのあまりを集めなさい。」そこで弟子たちがみんなの食べた後の残りを集めると、五つの大麦のパンを食べて残ったパンくずが、十二のかごにいっぱいになったのでした。

このお話は、マタイによる福音書の第14章15-21節と、マルコによる福音書の第6章35-44節、それにルカによる福音書の第9章12-17節にも書かれています。